

## 特別シンポジウム（組織委員会企画）OS05

### 次世代創薬に向けた新たなストラテジー

### Strategies for the Next-Generation Drug Discovery

佐藤 薫<sup>1</sup>, 行方 衣由紀<sup>2</sup>

<sup>1</sup>国立衛研, <sup>2</sup>東邦大薬

日本薬学会薬理系薬学部会は 2009 年 4 月に創設された新しい部会です。2009 年 8 月には若手世話人会が発足し、日々、実りある研究交流を続けております。本シンポジウムはこの若手世話人会が中心となり、薬理学研究においてオリジナリティにあふれた研究に邁進し、新風を吹き込んでいる女性研究者の皆様にご参集いただきました。中枢神経系における免疫担当細胞と言われてきたミクログリアの創薬標的としての新しい可能性、糖尿病治療をめざしたインスリン分泌の新たな調節因子の発見、指定難病である多発性硬化症における新たな治療標的の発見、心房細動の引き金となることが明らかとなりつつある肺静脈心筋の治療標的としての可能性、新規の脂肪酸代謝物によるウイルス病原性発現調節機構、治療標的としての有用性、と現在の薬理学研究のトピックが一堂に会しました。さらに、シーズ探索的な基礎研究からオミクス研究まで、様々な研究アプローチに触れる貴重な機会ともなりました。このような多岐にわたるトピックについて会場の皆様からもご意見をいただき、日本の創薬研究における薬理学研究の新たな可能性について議論を深めたいと思います。